



2026年2月13日

## 各 位

会社名 岡本硝子株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼CEO 岡本 穎  
(コード番号 7746 東証スタンダード)  
問合せ先 財務経理部長 風間 卓  
電話 04-7137-3111

### 2026年3月期業績予想に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期通期の連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 2026年3月期通期連結業績予想の修正

(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,277	百万円 104	百万円 38	百万円 20	円 銭 0.86
今回予想 (B)	4,690	△124	△121	△134	△5.04
増減額 (B-A)	△587	△228	△159	△154	
増減率 (%)	△11.1	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	4,686	126	84	89	3.82

#### 修正の理由

当第3四半期連結累計期間において、プロジェクターの需要低迷に伴う顧客における在庫調整により、フライアイレンズの売上高が計画を下回りました。プロジェクターの需要低迷は続いているため、当期のフライアイレンズの販売数量は、当初計画を下回る見込みです。

また、当社製の偏光子は、顧客にてファラデー回転子と組み合わせて光通信に使用されますが、データセンタ投資の活発化により、ファラデー回転子の需給逼迫が生じ、この影響で当社への偏光子の発注が急減いました。2025年11月からは、受注、生産数量ともに回復しておりますが、当期の販売数量は、当初計画に届かない見込みです。

また、2025年10月に窒化アルミニウム放熱基板の製品出荷を開始しましたが、その販売数量の立ち上がりは、当初計画より遅れています。

化粧瓶への加飾蒸着とUV反射鏡は、引き続き好調ですが、フライアイレンズ、偏光子、放熱基板の売上高下振れの影響をカバーするには至らない見込みです。

これらにより、売上高は前回公表時(2025年5月14日)の予想を587百万円下回る見込みです。修繕費などの費用削減に取り組んでおりますが、営業利益は前回公表時の予想を228百万円下回る見込みです。

以上